

事業区分 令和4年度 体験活動普及啓発事業

事業名 親子でゆったり星時間

[主 催]	国立阿蘇青少年交流の家
[後 催]	熊本県教育委員会、阿蘇市教育委員会
[期 日]	令和4年10月15日(土)～16日(日)
[活 動 場 所]	国立阿蘇青少年交流の家
[参 加 者]	幼児～小学校3年生までを含む家族 10家族 計19名
[講師・協力団体]	ながしお わか 氏 (絵本専門士) 野村 美月 氏 (熊本博物館天文担当学芸員)

1 趣 旨

絵本専門士による絵本の読み聞かせを通して、星に関する興味・関心を引き出し、実際に阿蘇の草原で星空観察を行うことで、自然の雄大さや素晴らしさを体感し、体験活動の重要性を広く・普及啓発する。

2 目 標

- ① 参加者の8割が、絵本や体験活動に満足できたと感じることができる。
- ② 参加者の8割が、自然を身近に感じることができる。

3 事業展開

(1) プログラム

【1日目：絵本の読み聞かせ、星空観察】

- ・阿蘇の草原の中で、周りの虫や風、木々の揺らぐ音を聴きながら絵本専門士による絵本の読み聞かせを行った。
- ・天体専門学芸員による星の解説を聴きながら、天体観察を行った。

(2) 活動の様子



絵本専門士ながしお先生による絵本の読み聞かせ



絵本の世界に入り込む子供達

4 成果と課題

(1) 成果

- 参加者の8割が「満足」した活動ができたと回答。
- 参加者の10割が、交流の家の事業にまた参加したいと回答。
- スケジュールに余裕を持たせたことで、休憩時間等を利用して家族が自然をゆっくり体感できる時間をつくることができた。

(2) 課題

- 思った以上に外気温が低くなり、昼間との寒暖差で用意しておいたビニールシートに結露が発生し、参加者がゆっくり寝転ぶことができなかった。気温の変化による事業への影響のリサーチが足りなかった。
- 草原の湿気により、紙袋灯籠の底部分が弱くなり、そのため設営に想定以上の時間がかかった。実際の現場での設営について、当日と同じような状況での試行が必要だった。